

対象年度		令和 2年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		市庁舎整備事業						予算事業名		市庁舎建設事業費					
予 算 科 目	会計	01	款		項 目		事業		要求区分		根拠法令				
			02	01	15	11	経常経費								
総合計画体系	5協働で進める持続可能なまちの実現(自治・行財政運営)						事業の区分		主要事業						
	5-3情報化社会に対応した行政体制づくり (市民生活・行政・情報)						担当課係等		契約管財課						
	①行政サービスの充実								新庁舎建設推進室						
事業期間		継続 (平成28年度～令和 2年度)													
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】									
まちづくりを担う市民や市議会、行政がお互いに情報を共有・発信ができ、また、市民の利便性が高く、災害時にも安全な市民生活を支えるとともに本市のシンボルとして誇れる庁舎を整備する。						現本庁舎は、老朽化や耐震性の不足、バリアフリー化への未対応、災害時の防災拠点機能などに課題があり、平成24年度から検討を行い結城市庁舎基本構想により新庁舎整備の方針が示され、平成27年度に策定した結城市庁舎整備基本計画に基づき事業を進めている。									
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】									
H29：実施設計委託 H30～R02：工事、監理委託 R02：工事完了 庁舎移転						来庁者、職員									
						【事業をとりまく環境の変化】 建設資材の高騰や、作業員の不足などに伴う建設価格の上昇が続いており、計画する事業費内での執行が懸念される。									
【令和 2年度 事業内容】			【令和 3年度 事業内容】			【令和 4年度 事業内容】									
工事完了に向け工事監理を行う。 工事完了に伴う引渡し検査を行う。 移転作業を行う。 ■工事費 庁舎本体、外構整備 ■委託費 工事監理、移転 ■その他															
■事業費															
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金		H30年度		R01年度										
	県 支 出 金		0		0										
	地 方 債		347,000		1,831,000										
	そ の 他		0		1,520,000										
	一 般 財 源		134,445		31,135										
歳 入 計 (千 円)			481,445		3,382,135										
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)		金額 (千円)		金額 (千円)										
	08 報償費		46		184										
	09 旅費		0		268										
	11 需用費		8		37										
	12 役務費		1,042		890										
	13 委託料		10,368		59,256										
	14 使用料及び賃借料		958		7,405										
	15 工事請負費		468,731		3,314,095										
	19 負担金補助及び交付金		292		0										
歳 出 計 (千 円) (A)			481,445		3,382,135										
伸 び 率 (%)					602.49										
備考 総合計画後期基本計画 141 ページ 予算書 51 ページ															

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	業務契約手続き（主要な委託）	回	目標	2.00	2.00	1.00
	H30 工事監理 オフィス支援1 R01 オフィス支援2 移転計画 R02 移転業務 転		実績	2.00	0.00	0.00
	工事契約手続き（主要な工事）	回	目標	2.00	1.00	1.00
	H30 本体工事 周辺駐車場 R01 外構整備 R02 備品購入		実績	2.00	0.00	0.00
成果 指標	事業の進捗（基本設計，実施設計，工事，移転）	%	目標	60.00	80.00	100.00
			実績	60.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	庁舎機能の分散化，施設の老朽化，防災拠点機能等の現庁舎の課題から，市民の安全安心な生活を守るための防災機能を有し，利便性が高く，市のシンボルとして誇れる庁舎整備が求められている。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市が整備する施設である。
	手段の妥当性	A 妥当である	一般的な手法において，設計，工事を執行し事業を進めている。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	市の財政負担に影響が大きいいため，コストの削減に努め事業を進めている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	全ての市民に対し，サービス，災害対策の向上が図られる。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	市民，職員の使いやすい庁舎となるよう，施工計画において詳細な改善を行っている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	本体工事が予定価格内で落札され計画通り工事に着手することが出来た。工事が順調に進み，全体事業スケジュールに沿って進捗している。今後，付帯工事や移転に伴う業務を順次執行する。

総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

庁舎整備基本計画で定めたスケジュールと事業費に従い，順調に市庁舎整備が進捗している。今後，開庁に向けて，付帯工事や備品購入，移転業務等の執行を進める。また，市民に親しまれる庁舎となるため，無事故無災害で工事が完成できるよう，施工業者，工事監理者，執行部と共に連携を図る。

対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか

関係者とともに安全性に対する意識を高めて無事故無災害を目指し工事を進める。付帯工事等に関してもコスト削減に努め執行する。

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 結城市庁舎整備基本計画に従いコスト管理，スケジュール管理を継続する。施工者と連携し工事の安全意識を高め，無事故無災害で市庁舎を完成させる。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。